



2月の聖句

わたしは弱いときにこそ強いからです。
コリントの信徒への手紙Ⅱ12章10節

2月さんびか

ひかり ひかり
こどもさんびか 52

響き合う



園庭の隅には水仙が、門花壇には白木蓮が小さな蕾の中で今か今かと花咲く時を心待ちにしているようです。ぐるっと木々を眺めていくと、もみ、桜、ハナミズキ、いちょう、くぬぎ…それぞれに春への準備が始まっています。子ども達も行きつ戻りつしながら、進級、進学への心の準備をする大切な時期ですね。

今年もこうして子ども達は園生活での楽しみを見つけ、涙顔の登園が笑顔に変わり、先生から友達へ信頼が広がり、友達同士手をつないでの降園も増えてきました。

研修で正範語録(下記)なるものを知りました。武田信玄作とも言われていますが作者不詳。以前ネットで流行ったそうです。講師は「みちの駅」でこの言葉に出会い、紹介してくださいました。何年生きていても世の中まだまだ知らないこと多く、それゆえ感動や考えさせらること尽きぬのは有難し。

「実力の差は努力の差 実績の差は責任感の差
人格差は苦勞の差 判断力の差は情報の差

真剣だと知恵が出る 中途半端だと愚痴が出る いい加減だと言ひ訳ばかり

本気でするから大抵のことはできる 本気でするから何でも面白い
本気でしているから誰かが助けてくれる」

皆様はどこか響いた言葉がありますか？ 特にはありませんか？

私は我が身を振り返り、成程、とぷっと笑いがこみ上げるところ、胸がチクリとするところ、あ〜確かに、と共感するところ色々ありました。子ども達から日々感動を得られるのは、そうか、子ども達がどんな場面でも真剣で、知恵を出し合い、本気でするから誰かが助けてくれて、本気でするから何でも面白がれるのだろうと納得したり…。

今年も1年、2年、3年の園生活の中で初めて取り組んだこと、楽しんできたこと、うまく出来なくて涙したこと、友達が寄り添ってくれたこと、あきらめそうになったけどやり続けているといつの間にかできるようになったこと、一人ではドキドキしたけど先生や友達と一緒に乗り越えられたこと、小さな小さな積み重ねが響き合い、大きな成長へと繋がった今…。自分だけだと弱さに負けそうな時も、弱い時にこそ、神さまを身近に感じ、祈りを支えに強くなれたことを皆で喜びあえる2月となりますように…。【園長】